

## お知らせ

### <板橋教頭先生が「東京都教育功労者賞」を受賞>

受賞の弁 教頭 板橋昭夫

この度は東京都より栄誉ある「東京都教育功労者賞」を授かり心より感謝申し上げる次第であります。私が小学校に勤務してからすでに40年近くが経ちます。私は最初に3年生の担任として教壇に立ちました。その頃は、1クラス30名以下の児童数で、学年によっては1学級しかないクラスもありました。「なんとかしないとこの学校は潰れてしまう。」と、その時の教頭がつぶやいたのを覚えております。年配の先生方が多い中で、いつも「おい、何とかしろよ！」という誰が発しているとも思えない声が、背中を押していました。成城界隈を吹奏楽部と共に手作りの神輿を担いで練り歩いたこと、ご父母の方々とのスポーツ大会、中学受験研修で某塾で研修に励んだこと、算数習熟度別学習を勧めたこと、高い学力と心の教育を両輪にして教育を進めていくこと、声高に年配の先生たちに問いかけました。さらに、すでに中年の部類に入られた先生方の前向きな姿勢も功を奏し、児童数は徐々に増えて今に至りました。

そして、現在、さらなる飛躍をめざして重永校長先生、並びに先生方、事務の方がこの学校をさらなる発展の高みに進めようと日々教育に仕事にと尽力され、子どもたちの瞳に輝きを放っているからこそ授かった、東京都教育功労賞であると思っています。皆様、誠にありがとうございました。子供たちが「教頭先生、おめでとうございます。」と投げかけてくれたことも、併せて私の「宝物」としたいと思います。

#### ① 平成26年度定時総会のお知らせ

日時：平成26年6月21日(土) 午前11時～12時まで / 場所：東京都市大学付属小学校内若桐ホール

同日、総会終了後午後12時30分よりアリーナにて懐かしい恩師との懇親会を行う予定です。

内容、会費等の詳細は若桐会HPをご覧下さい。

お子様の同伴大歓迎です。駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

#### ② 同窓会「若桐会」は皆様よりの同窓会費で運営されております。

同窓会費未納の方は恐れ入りますが納入をお願いいたします。

詳しくは若桐会HPにて <http://www.wakagirikai.com>

発行 東京都市大学付属小学校同窓会 若桐会  
〒157-0066 東京都世田谷区成城1-12-1

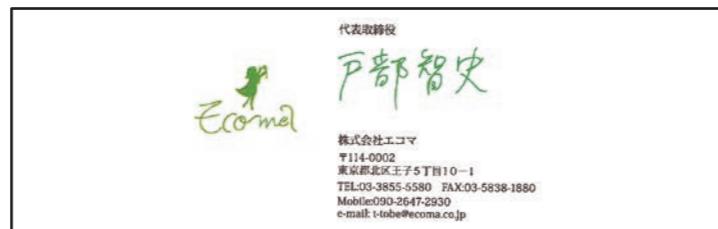


#### 株式会社太平商会

代表取締役社長 古屋公啓  
東京都港区港南三丁目7番20号 TEL.03(3471)1531 FAX.03(3471)1532

レンタルスペース  
**P.S.R 港南**

**感性価値** を創造する **池田印刷株式会社**  
<http://www.ikeda-print.co.jp>  
本社・営業：東京都品川区西五反田6-534  
TEL.03-3493-2141 FAX.03-5434-9307  
京浜島工場：東京都大田区京浜島2-4-18  
TEL.03-3799-1241 FAX.03-3799-1243



※この会報はユニバーサルデザインを基本として作成されています。

東京都市大学 付属小学校 同窓会 若桐会 会報誌 2013号

東京都市大学 付属小学校  
TOKYO CITY UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL

# 同窓会 若桐会



より強い卒業生の絆がそこに生まれることと信じております。



若桐会会長  
**池田 幸寛**  
第18期(1974年卒)

昨今、人と人との結びつきが薄れる中、同じ学び舎で学び成長してきた仲間との繋がりを再認識し、絆を強く持つことが大切だと思います。若桐会は縦の糸、ここが軸になり、横の同期会の糸で結ぶことによりより強い卒業生の絆がそこに生まれることと信じております。

若桐会会則の第1章第2条目的に、本会は会員相互の向上、親睦を図り合わせて母校の発展に寄与することを目的とするとありますが、卒業生の会として後輩の在校生に支援等も行える会としたいと思っております。

発足したばかりの若桐会ですが、同じ学び舎で過ごした全ての卒業生が絆を強く持てるよう役員一同、皆さまのために精進いたしますので、宜しくお願ひいたします。役員を代表いたしましてご挨拶とさせていただきます。

## 同窓会の大きな発展を祈ります。

同窓会の皆さま 重永睦夫と申します。平成22年度より校長を仰せつかっております。よろしくお願ひ申し上げます。

長らく休止状態にありました同窓会がふたたび活動を始められましたこと、まことにおめでとうございます。東横学園小学校として53年間、東京都市大学グループの付属小学校へ名称変更してから5年になろうとしており、もうすぐ創立60周年を迎えます。伝統校の仲間入りをしたと言って良いでしょう。これもひとえに同窓生の皆さまが卒業後も母校をあたたかく見守ってくださったお陰と感謝申し上げます。

公立小学校には同窓会という組織はありません。私立小学校でも同窓会を持っているところはそう多くはありません。しかしつつある名門校には必ず同窓会があって活発な活動をしております。東横小から連なる都市大付属小も伝統校に名をつらねるようになっていますので、それにふさわしい同窓会組織が必要な時期だと思っていたところに再建・発足の報に接し大変うれしく思っております。池田会長さんをはじめ発足にご尽力いただいた役員の皆さまの労に心より敬意を表します。

小学校の同窓会は「竹馬の友」の集まりです。中高大学の同窓会とは一味も二味もちがって文字通り心の交流の場です。卒業生の皆さまが社会の荒波にもまれて生きているとき、ときには荒波を避けて一休みする港のような安らぎの場だと思います。同窓会が末永く発展し、卒業生の心のよすがとして大きな力になられますようお祈り申し上げまして、ご挨拶と致します。

## 若桐会役員

会長 池田 幸寛 第18期(1974年卒)	理事 山田 洋輔 第40期(1996年卒)
副会長 戸部 智史 第33期(1989年卒)	会計 宮永 正浩 第40期(1996年卒)
副会長 青木 健司 第39期(1995年卒)	会計 柚木 優代 第43期(1999年卒)
理事 古屋 公啓 第27期(1983年卒)	名誉会員 東京都市大学付属小学校校長 重永 瞳夫
理事 富本 大一 第33期(1989年卒)	特別会員 東京都市大学付属小学校教頭 板橋 昭夫
理事 原藤 香織 第39期(1995年卒)	監査 東京都市大学付属小学校教諭 別府 美典

## 収支報告

## 平成24年度若桐会収支報告

収支	金額
卒業生(30名)同窓会費	¥60,000
第56回卒業生(79名)同窓会費	¥158,000
第57回卒業生(78名)同窓会費	¥156,000
利息	¥36
計	¥374,036

在校生対策準備金  
\*在校生に対してのみ使用

支出	金額
第一回若桐会総会ペットボトル代	¥17,748
USB スティックメモリ代	¥2,470
切手代	¥120
振込用紙作成代	¥150
計	¥20,488
次年度繰越金(収入-支出)	¥353,548

在校生対策準備金  
\*在校生に対してのみ使用

## 卒業生のひろば 第18期卒業生 近藤剛

第18期に卒業の近藤剛です。私は二子玉川幼稚園をへて昭和42年4月東横学園小学校に入学しました。小学2年生まではスクールバスで小学校に通っていました。当時の家や学校の近くの風景は今のそれと違い、畠も多くのんびりとした感じでした。スクールバスに乗る時も最初はずいぶんとぐずって母親を困らせた記憶があります。小学校の生活も1学年2クラスのため、同学年全員の顔と名前が最初よりよくわかりました。こじんまりとした生徒全員に先生方の目が行き届く大変よい環境の小学校だったんだなと今さらながら思います。毎年の運動会や水泳大会、文化祭など行事も忙しくその準備や企画を通じて1年1年を充実した日々を過ごさせてくれたのだなと感じています。

当時テレビでは、ウルトラマンや巨人の星が流行っていました。また、歌謡曲も全盛の時代で多くのアイドルもテレビに

登場していました。当時の歌を聴くと懐かしくもあり少し切なくなる思いもいまだにします。

その後、東横学園小学校の隣の武蔵工大附属中学、高校に進学しました。高校卒業後は小さい頃より宇宙ものや飛行機が好きだったせいもあったのか、当時運輸省の管轄する航空大学校に進みました。学校は、宮崎本校と帯広、仙台分校とあり、それぞれの場所で自家用操縦士、事業用操縦士、計器飛行証明等を取得します。1年に3回に分けて入学するので同期生は24人くらいです。

全寮制の学校です。毎日の厳しい飛行訓練と先輩後輩関係のきびしい寮生活で2年8ヶ月をかけて卒業します。寮生活は最初は面くらいましたが、慣れてくると楽しくもありいい思い出になっています。卒業当時は就職もあまりよくない時代でしたが、今となっては同期皆エアラインの機長として日本や世界の空を飛んでいます。残念ながら、みな忙しく小学校の同窓会ほど航大の同窓会は開けていません。

卒業後すぐに就職しYS11(今では飛んでいません)の副操縦士の訓練に入りました。また副操縦士になった後6年くらいでYS11の機長になりました。YS11は私を育ってくれた飛行機でした。その後30歳くらいの時にA320に移行しました。自動化がかなり進んだ飛行機で18年近く乗りました。またB737にも3年くらい乗りました。パイロットになり30年あまり経過しましたが、皆さんご存知のとおり航空業界の競争、

企業再編も激しく今ではANA所属となっています。1年3ヶ月あたりはCS推進部という部署にも所属していました。お客様にいかに満足して飛行機を利用していただけるかお客様の声を通じてグループで改善していく為の部署です。パイロットの仕事とはまた違う意味でエアラインのありかたを考えさせられる部署でした。国内のエアラインも昭和58年当時には5社しかありませんでした。しかし今では13社を超える国内の航空会社がはじめています。国際競争も激しくなる一方です。日本の航空業界も国際競争力をつけ、よりいっしきりしていかなければならぬところです。

国内運航においても昨今は乗員不足から外国人乗務員が各社とも少しずつ増えてきています。航空大学校のみならず一般大学でも乗員養成課程ができ少しずつですが日本人の運航乗務員を養成しています。また自社養成制度で採用しているところもあります。日本の民間航空の運航乗務員は約6000人います。30年間あまり人数は変わっていませんが、今後しばらくは団塊の世代のシニア機長の退職等で運航乗務員の不足が予想されています。若い方で、とりあえず将来、特に希望の職業がない人はパイロットなどいかがですか。今では女性のパイロットもたくさんいます。仕事は責任も重く勉強と審査の繰り返しで大変なことが多いですが、大空から見る景色には格別のものがあります。最初に練習機で単独飛行に飛び上がったときの記憶は今でもはっきり覚えているほどです。

今年の7月より仙台のIBEX社に出向しCRJの訓練を行っています。52歳にしてまた新たな機種の勉強です。今の私の訓練のペアは大学を卒業したばかりで22歳の若者です。若い相棒はやる気まんまで頑張っています。私の記憶力も鈍りがちですが一緒に汗かきながら訓練に望んでいます。今振り返ると小学校を卒業してからの、あつという間の40年でした。

若い皆さんにとってこれから大変なことが多い時代であると思いますが、是非とも自分の夢や希望に向かって頑張ってください。私も日々の安全運航に努力していきたいと思っています。

